

東部市民センターだより



新年明けまして おめでとーうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

地域の皆様は、健やかに新春をお迎えることと存じます。

昨年5月から、新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が、「5類」に引き下げられ、当市民センターにおいてもこれを機に、



「東部市民センター夏まつり」は、町会やサークル、保育園、学校などのご協力で、多くの地域の皆様楽しんでいただくことができました。

2月23日現となりました。特に、7月に開催した第2回

「東部市民センター夏まつり」は、町会やサークル、保育園、学校などのご協力で、多くの地域の皆様楽しんでいただくことができました。

今年度のセンター講座は12月のクリスマスバルーンアート講座を最後に無事終了いたしました。講座については、

センター講座には
延べ900人が参加

部屋ごとの利用者数の制限や、館内での飲食などが緩和され、センター事業やサークル活動に笑顔と活気が戻った年になりました。



笑いで始まり笑いで終わった伊奈かつべいさんのトークショー「健康だから暴飲暴食ができる」

今年度は開館40周年！
新年は1月4日から

今年も、地域の皆様の元気と健康をテーマに、センター講座やロビー展、地域イベントの開催、更には地域の皆さんと開館40周年を祝う記念イベントも開催したいと思っています。

センター職員一同気持ちも新たに、明るく元気にセンターの管理運営に取り組んでまいりますので、本年も東部市民センターをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当センターは、1月4日(木)から通常通り午前9時に開館します。皆様のお越しをお待ちします。

迎春



当協議会は、東部市民センターの管理運営を市からの受託により行っています。

今年も地域の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう心からお祈りいたします。

令和六年元旦

青森市東部市民センター
管理運営協議会
会長 大坂 昭

◆副会長／福原 寛(野内)、
和田隆司(宮田)

◆理事／尾崎 久(久栗坂)、
福田 隆(桑原)、小笠原千代春
(後范)、東 一雄(原別)、植村
輝男(平新田)、鹿内正代志(戸
崎)、小笠原正勝(泉野)、成田信
一(矢田前)、木原民一(諏訪
沢)、津川 實(築木館)、古川正
行(岡造道)、山田謙一(矢作)、
福田敏明(矢田)

◆監事／白取清彦(八幡林)、
古川憲正(矢作)

◆代議員／堤多津彦・蝦名憲正
(久栗坂)、白鳥恒典・柴田知弘
(野内)、白取裕士・小笠原勝美
(原別)、斎藤修一・宮本文明(平
新田)、工藤 健・市川久也(矢
田前)、山田良一(諏訪沢)、山田
守・倉内豊美(本泉)、小笠原光
春(宮田)

*敬称略

焼納祭 (どんと焼き)

焼納祭とは、一年間ご加護いただいた御神札や御守に感謝の気持ちを捧げ、無病息災・家内安全を願う火祭りです。

- ◆原別稲荷神社
1/10(水)10:00～
- ◆八幡宮(浅虫)
1/10(水)10:00～
- ◆諏訪神社(栄町)
1/7(日)11:00～
- ◆廣田神社(長島)
1/7(日)10:00～



サークル紹介 石川流津軽笑つせ手踊り愛好会

当市民センターを活動拠点に、57団体が定期的にサークル活動を行っています。

今回は、令和3年5月に結成した会員16人の「石川流津軽笑つせ手踊り愛好会」を紹介し、以前市内で開催されていた「津軽笑つせ劇場」の津軽手踊りに魅了された10代から50代の方が集い、石川流二代目の石川久美子名人を講師に招き毎週木曜日の午後6時から稽古しています。

津軽手踊りは、皆さんご存じのとおりテンポの早い曲で、かかどをつかず中腰の低い姿勢と、手や指先のしなり、そして、リズムカルに踊るのが特徴的です。

講師の石川名人は「手踊りの稽古とおして、三味線や民謡などの津軽の郷土芸能や文化を受け



本県では、津軽三味線奏者の初代高橋竹山さんに次いで3人目の名人位となった石川流二代目の石川久美子さん(前列中央)と会員の皆さん

継いで欲しい。」と、また会の代表の中谷さんは「仲間になつて楽しく踊つて体幹を鍛えてみませんか。」と笑顔で話してくれました。

令和6年度の「市・県民税」の申告は 東部地区の「臨時申告受付会場」で！

2月16日(金)から市役所駅前庁舎で始まる令和6年度「市・県民税」の申告受付を前に、東部地区では東部市民センターなど4カ所で「臨時申告受付」が行われますのでご利用ください。

◆問合せ/青森市役所市民税課(電話 734-5193)

実施日	会場	受付時間
2月6日(火)	道の駅 ゆ〜さ浅虫	9:30~13:30
2月7日(水)	久栗坂町民会館	
2月9日(金)	東岳コミュニティセンター	
2月13日(火)	東部市民センター	9:30~15:00

東部市民センターで マイナンバーカード を作ろう！



◆とき/2月6日(火)、10:00～17:00(写真撮影無料)

◆持ち物(①～③のいずれかを持参) ①個人番号の通知カードまたは個人番号通知書 ②申請書 ID 付きの個人番号カード交付申請書 ③住民票の写しなど個人番号のわかるもの (問)市民課/718-0440

厄年

◇厄年とは、災難や障りが身に降りかかりやすい年のことで、中でも男性42歳(昭和58年生、いのしし)、女性33歳(平成4年生、さる)は「大厄」と呼び、特に注意が必要な年齢です。

女性は33という数字のため「散々」、男性は42であることから「死に」通じるからといわれています。また、その前年を前厄、後年を後厄として、3年間の注意を促しています。

今年辰年

◇今年辰は、干支で言う「甲辰」(きのえ・たつ)年です。干支とは、干(十干)が十種、支(十二支)が十二種で、両方を組み合わせると60通りで、これが一巡すると還暦となります。一般には十二支が使われ甲辰年は「辰年」と呼ばれ、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になるようです。



発行/東部市民センター
青森市原別3-8-1
電話(736)6255
FAX(736)6259

